［発行者］社会福祉法人 伊勢亀鈴会　2021年4月1日発行

きれい

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会　ウェブ検索

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL 136

巻頭インタビュー

中期経営戦略を問う

社会福祉法人 伊勢亀鈴会　横山 仁司

高山の臥龍桜
撮影　きれいサポートステーション　三林通信員

菅原神社のしだれ梅

鈴鹿市の菅原神社では、350 本の梅が、今年も咲き乱れていました。早い春の訪れでした。

目次

■巻頭インタビュー ―― 1
中期経営戦略を問う
社会福祉法人伊勢亀鈴会
理事長 横山 仁司

■なかま ―― 6
第2南勢就労支援センター
奥村 朝生 さん

■道のり ―― 7
地域貢献活動の実施
～感染症予防不織布きれい君～

■春夏秋冬 ―― 8
行事・クラブ・活動紹介

■ハートフルリレー ―― 16
心をこめてお手伝い
福祉葬祭三重
きれい福祉会館伊勢　館長 隅　善昭

■きれいトピックス ―― 17
ケーキと肉まんのご寄付をいただきました
還暦&成人のお祝い
永年勤続表彰

■職員の休日 ―― 20
明るく楽しく元気に仕事をしています
八野生活介護センターURAURA稲生 佐藤 円香

■きれいの動き ―― 表3
新職員・人事異動他

表紙写真

高山の臥龍桜

寒い冬に別れを告げ、今年も春がやってきました。コロナ禍で花見も自粛モードですが、少しでも春を感じてください。

Interview 巻頭インタビュー

中期経営戦略を問う

社会福祉法人伊勢亀鈴会
横山 仁司 理事長

今回のインタビューは、感染症対策や令和3年事業運営方針について、また、理事長のプライベートなどお聞きしたいと思います。

インタビュアーは、八野生活介護センターの小林ときれいサポートステーションの末村です。宜しくお願いします。

Q1. 新型コロナウイルスで大変な変化の起きた一年でした。理事長として特に大変だったことは何でしょうか？

理事長…コロナ禍でこの一年間大変な年だった。そういう時、私はいつも経営の基本としているのが「スピード」である。スピードというのは変化への対応力。それを運営の基本に置かないと、手遅れになれば大変なことになる。特に職員の中で濃厚接触者が出たり、あるいは利用者さんについてその疑いがあるときにきちっと対応していった。おかげさまで施設の中で感染者が出なかった。逆に言えば、保護者さんのご協力も含めて伊勢亀鈴会の対応はうまくいったんじゃないかと思います。

私達は障がいのある皆さんのお世話をしている施設だから、職員がコロナ禍でどういった対策をするかというのが大切。まず利用者さんが外出する機会がほとんどなくなってしまった中で、特に入所施設の利用者さんのケアをどうしたらよいかを日々施設長と打ち合わせをしました。

「施設内で3密にならない施策であればどんどん実施してください」というお願いをしました。

その中で、コロナ禍で新たにできることできないこと・・・

例えば八野生活介護センターで「文化祭」をした。今までなかったことだ。優秀作品については表彰をした。そういうことが具体的なコロナ禍における利用者さんへの支援だと思う。特に理学療法士の皆さんには体力強化のためにしっかりと個別ケアをするようにお願いをしました。

宮の里の改装された医務室

以前は、インフルエンザの感染症が毎年どこかの施設で起こり、集団感染したケースがあった。

そこで各施設に加湿器を置き、殺菌作用のある空気清浄機を導入した。一昨年の冬以降、集団感染者数が「0」になりました。

それらの積み重ねが、三重県下でも新型コロナ感染症が流行する中、伊勢亀鈴会においては集団感染者数が「0」となった要因だと思います。

普段から感染対策をきちっとやっていたから感染者が出なかったと思います。

Q2.入所施設や通所の方で感染者がでた場合はどういった対応を考えておられますか？

理事長：保健所や行政と連携をとりながら、予防策と水際対策を行う。また、会議はZOOMを導入して、経営戦略メンバーや各施設長、看護師、計画相談員、営業担当等在宅勤務ができるようにした。冒頭でも言ったとおり、スピードが大事。何でも先に手を打っておく。最悪を想定して手を打つ。発症してからじゃ遅い。リモートワークのハード、ソフト両面からの仕組みを構築することが大切だと思います。

Q3.職員に徹底してほしい対策は何がありますか？

理事長：濃厚接触感染、密集・密接・密閉。いわゆる水際作戦である。昨年末から接触感染から飛沫感染の率がずっと高くなっている。飛沫感染は市中感染を含め、なかなか防ぎようがない。職員の皆さん、保護者の皆さんが気軽な気持ちで友達と会ったり、食事をしたりすると感染してしまうのが飛沫感染の怖いところ。皆さんも情報をもっと取ってほしい。娯楽番組も良いが、NHKニュースも日に一回は見てほしい。自分が介護職員という自覚があれば、最低限の責任だと思います。

潮音のデイルームスペース

Q4.今後の感染対策のメインを教えてください。

理事長：まず問題はワクチンはあるけど、それを打つ看護師さんが足りないから困っているのが今の日本の現状です。

伊勢亀鈴会は施設に看護師さんがたくさんいるから打ちやすい環境がある。これからお願いしようと思うけど、うちの看護師さんに近くの体育館とかで特設会場へ出かけて、地域の方のワクチン接種に協力してもらおうかと思っている。それが地域貢献であると思います。

今年一年間の重点施策にある通り、コロナ禍の変化に対応した臨機応変な対策実施による利用者等の感染防止100％の達成とワクチン接種の完全実施、水際作戦の水平展開等を第一に掲げている。それを職員がチャレンジシートにいかに落とし込むかが必要です。

Q5.コロナ禍で行動が変わったことはありますか？

理事長：1つ目は、睡眠をしっかりとって朝6時に起きて、約5キロの散歩をして体力を強化できたこと。

2つ目は家族に対して自分が障がい者施設の理事長であることを再認識してくれたこと。新型コロナは自分だけ気をつけるのではなく、家族の協力も必要。

3つ目はテレビや新聞を読んで最新の情報を得ることで情報収集能力を高めることができた。リモートワークでいつどこでも在宅勤務ができるように組織を体系化できたことです。

【13年間の成果】

私が伊勢亀鈴会に来た時に感じたのは、施設が汚かった。においもしたり、雨漏りもしていた。こんな環境で支援をするという福祉事業が理解できなかった。南勢就労支援センターの改装以外は、全てこの13年間で終わりました。

【今後の伊勢亀鈴会】

私達は何を目指すか。私なりに方向を皆さんに示した。逆にいえば雨漏りがして設備・施設が古くなってもお金がないといけない。もう国にお金がない。国債千兆円の借金がある国に頼っても無理。そしたら自力でお金を儲けて、そのお金で施設整備をしたり、利用者サービス支援をしていかないといけない。施設整備をしたり職員の処遇改善をしたり、多くの経営改善課題がある。

第２南勢のジャム販売スペース

今後5年間、中期事業計画をしっかり皆さんに理解して実践してほしいと思います。

１つはなぜＡＩ・ＩＣＴを導入するのか。うちは介護の職員さんが毎日のケア記録を書いたり、経理担当で加算計算したりをしている。こんなことしているようではいけない。

そのような間接稼働をＡＩ化する。また、拠点を結んだ有効事例の水平展開をする為にＩＣＴを図る。結果的にプロフェッショナルな介護職を育成する事です。

個別ケアを充実させ、知的障がいなら知的障がい、精神障がいなら精神障がいの個別ケアを充実させることが出来る。そのために導入する。間接稼働の時間を割いてあげれば、国家資格の有資格者を育成できる。今の50％の有資格者だけじゃだめ。最低でも70％が国家資格有資格者とならないといけない。プロにならないといけないと思います。

Q6．既存の改装は終わりましたが、ライフステーション等の相談支援事業やグループホーム、社会的事業所、放課後等デイサービスのその後の展開はどうなりますか？

理事長・・・北勢のライフステーションでもサポートにしろ、作業場所が狭隘。今の環境ではだめ。だから近く、もっとスペースの広いところに移転を計画しています。

放課後等デイサービスについて今は検討中。南勢の方でも検討しているが、今の内容ではちょっと難しい。全国の有効事例を収集して、放課後等デイサービスの本来あるべき姿を私なりに描いています。

社会的事業所は、行政のトップの方にも話をしているが、今の一般雇用率2.2％の実態が理解できない。3年間の離職率を考慮すれば本当の障がい者の地域共生や社会参加、社会進出には、ほど遠いと思います。

介護職の職員がいる施設へ、社会的事業所のような月々10万プラス障害年金6～7万、足したら10数万の収入があったら、鈴木知事がマニフェストで掲げられている社会的事業所を拡充すれば、「親亡きあとの一生涯支援」に結びつくわけです。

もっと社会的事業所を各市町に設置し、私たちが一生涯支援出来る仕組みづくりをしていかないといけない。

グループホームは、北勢で5ヵ所建設し、県下で10ヵ所程度は建設し、地域共生社会の実現に向けていこうと思っています。

Q7．グループホームの支援について・・・

理事長・・・グループホーム＝親亡きあとの一生涯支援の一つの施策ではあるが、単独入所が良いのか、親御さんが一緒に入るのが良いのか？そういうところをこれから中長期的に考えないといけない。家族ぐるみで生活が出来る。そういうグループホームが一番理想かなと思っている。また、重度身体障がい者のグループホーム建設を急がなければならないとも考えています。

※各写真はそれぞれの施設の“今”を掲載させていただいております。

例えば日中はデイサービスを提供して夜は泊まれるような小規模多機能型のグループホームのような？

理事長：そうだね。そこには制度が邪魔している。片方では地域へ共生しなさい。一方ではグループホームと就労施設は「同一敷地内はだめだ」と。今の制度の見直しをしてもらわないと実現できないと思います。

Q8．空き家対策について…

理事長：空き家対策はすでに実施している。三重県だけで空き家は約15万戸ぐらいある。地域社会の環境問題でもある。空き家があればそれを更地にして、土地売却して家屋を解体したり、リフォームして、福祉施設を作るなりするグランドデザインができていないから、法律ができても活用されないのが実態。そこを私たちがその代行をする。極端に言えば、遺品整理から解体、そして最後の土地の仲介代行までをトータルとして社会的事業所の「まかせ太君」が中心となって活動をしていかないといけない。そのためにコーディネーター役になると言うこと。現実に去年からどんどんこのモデルで空き家対策を推進しています。

Q9．利用者支援の教養活動・娯楽活動を進めていますけど、具体的な取り組みは？

理事長：まず、余暇活動を教養と娯楽にはっきり分ける。

障がいのある利用者さんの中に潜在能力がいっぱいある。潜在能力を引き出してあげる。そのためにも職員がもっとプロにならないといけない。今、八野就労でも公文の勉強を利用者さんがしている。くり返し国語や算数をすることにより、計算ができたり、自分の名前が書けるようになった利用者さんがいる。習字や絵画の潜在能力を発掘した例も多くある。そういう良い所を伸ばしてあげる。それが教養だと思います。

娯楽は「バス旅行」「クリスマス会」等は楽しみ。そういったところとはっきり分けなさいと言っています。

もう一つ大事なのが教養と娯楽の中に「しつけ」の要素を取り入れること。

八野就労で実施している公文の学習

南勢利用者ミーティングで６Ｓを説明する様子

朝は遅刻、昼になったら頭が痛くなったから帰る…。そんな状況では一般就職しても企業にとっては戦力にならない。

夜は10時になったらきっちり寝る。朝は6時なら6時に起きる。出社の時間8時半なら8時に出社する。といった「しつけ」をきっちりと指導してあげないと一般企業就職はできない。「しつけ」とはどういう事かを親御さんに代わって私たちが教えてあげないといけない。「しつけ」という面をミッションとして作りあげ、明確化することが大事だと思います。

Q10．今後、長期計画支援で子どもから高齢者までの一生涯支援についての具体的なイメージとかありますか？

理事長：夢みたいな話を私は描いてない。放課後等デイサービス、グループホームも

新規に開設された URAURA 稲生

どんどん拡大していく。何も新しいことはやるつもりない。「親亡き後の一生涯支援」のために、現在の事業をそのまま拡大していくだけです。

Q11. 就労事業における第3の柱について状況をお聞かせ下さい。

理事長：今現在、2本の柱のひとつは、最高40万円の福祉葬祭である。10年前に県下の平均葬儀費用が120万円だったのを、最高40万円、3分の1の価格に打って出た。これは葬儀原価を明確にした地域貢献活動であると考えています。

サポートステーションの福祉葬祭　鈴鹿南会館

もう一つは、解体や除草、独居老人宅の環境美化にメスを入れた、まかせ太君事業。地域の環境美化活動支援事業である。

しかし、収益を重視するだけはいけない。

そこで3本目の柱として、新型コロナ感染症予防衛生商品「きれい君」の開発をしました。

ある一人の職員のアイデアで、コロナ禍における地域貢献活動として、新しいウエスを病院や小中学校などに使っていただいてる。今現在、2万個ほど「きれい君」を購入していただいた。

先々に福祉施設には無料で配布したいと考えています。

Q12. 中期事業計画　5年後に向けて中核人材の教育について…

理事長：去年は中核人材研修で人数を絞って集中的に実施した。将来、伊勢亀鈴会を背負ってく若手職員を今から毎年育てていかないといけない。障がいのある人を社会全体が支援していく。九州の別府の町と同じように、大手企業が資金を出して町全体が障がいのある人が便利になる街作りをする。三重県も別府市のような町になるように3年前に別府市を訪ね、中期事業計画を策定した。

私は、「職員の満足なしに、利用者満足は得られない」また、「愛情なくしては人材育成はできない」ことを、人づくりの柱と考えています。

Q13. 職員にこれだけは！ということはありますか？

理事長：もっと自分に厳しく、鍛錬をしてほしい。「時代が違うから」と、苦難なことから逃げてはいけないと思います。

人生、一生長いようで短いのです。

日々、チャレンジしてほしいと願っています。

●ありがとうございました。

大規模修繕を終えた八野生活介護センター

なかま

だから人間は素直にありがとうと言う事を忘れがちなのかもしれない

第2南勢就労支援センター　奥村 朝生さん

カラオケが好きな一人の利用者さんはまかせ太作業に従事している。苦手なこともあるが得意なこともちろんある。

草抜きはお任せあれ

1曲お披露目

まかせ太の力作業は得意ではないが、機械の入ることが出来ない場所の除草作業には大きな能力を示している。

彼の仕事はとても丁寧である。一つの能力、誰にもまねできない能力である。

ただ、彼の能力は他に比べ見劣りしてしまうかもしれない。そんな彼に対しありがとうと言う事を忘れがちなのかもしれない。

〝ありがとう〟感謝の言葉で彼は自身の能力をより発揮できるであろう。

今日も一日頑張りました

年齢・性別・能力問わず・存在認証の意識を持ち感謝を述べたい。

自転車に乗り、送迎バスの乗り場に向かう。若い子に囲まれながら作業に取り組む。クラブの日には自慢のカラオケを披露する。帰宅前にスーパーで買い物をし、自宅にて晩酌を嗜む。

センターで支給される工賃を軸に生活している彼は今日もこつこつと作業を行っている。

乾杯!

買い物も日課

地域貢献活動の実施～感染症予防不織布 きれい君～

八野就労支援センターでは、工業用ウエスの生産販売を行っている。歴史は長く1992年、旧八野ワークセンター時代に遡る。当初、ハサミしかない状態で1日に数枚程度の生産量であったとのこと。その後、油圧式裁断機の導入や度重なる作業手順や工程の改善を経て、月間2トンの生産が可能となり、同事業所の就労種目の一翼を担えるまでに成長を果たした。

2020年秋、新型感染症が世界中で大流行し、〝withコロナ〟と言われる昨今、先人たちが、築いてきたノウハウを活用して「私たちになにかできることはないか」と新製品の開発に取り組んだ。試行錯誤の末、マスクに使われる素材である不織布を使用した、感染症予防衛生商品「きれい君」が誕生した。新しい生活様式の中、病院や学校、オフィスは基より日々、消毒を行う際に用いることができる汎用性の高い商品である。

これからも頑張ります

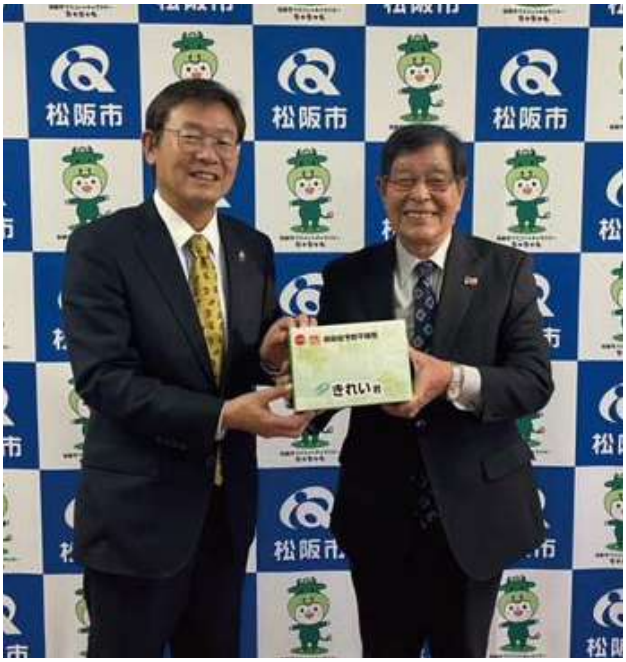
裁断の様子

1枚ずつ組み上げていきます

丁寧に半分に折ります

きれい君の生産は、まず裁断機で、職員が規格サイズに裁断を行うところからはじまる。次に不織布をティッシュペーパーのように1枚ずつ箱から取り出せるように、利用者さんが手作業で丁寧に組み上げていく。生産をはじめた頃は、1日50箱作ることが精一杯であった。利用者さんもはじめての作業に戸惑う姿もみられたが、一生懸命手順を覚え、毎日根気よく生産を続け、現在では1日500箱を目指して頑張っている。

これからも利用者さん、職員が一丸となり、日々生産に取り組む。合言葉は、感染症に負けず〝地域を元気に！〟延いては〝三重県を元気に！〟



松阪市 市長にご紹介させて頂きました

八野生活介護センター

八野神社・初詣

1月3日(日)、八野生活介護センターで初詣を行った。午前中は職員手作りの鳥居と神社でお参りをした。鳥居や神社、お賽銭箱の完成度に驚いていた。おみくじを引き、内容に一喜一憂していた。

午後は書き初め。久しぶりに習字をする人が殆どで頑張って書いていた。上手に書こうと半紙を睨むよう真剣に書いていた。コロナで外に出られない中、正月気分を味わっていただいた。

書き初め大会

八野神社大鳥居

おみくじ　結果はいかに!?

八野神社で参拝

バレンタインイベント

2月14日(日)の午後、入所の利用者さんにむけて、バレンタインデーイベントを行った。

メインはホットケーキ作り。ホットプレートで自ら焼いたホットケーキに、生クリームやメープルシロップ、カラースプレーでトッピング。自分で焼いたホットケーキは、また格別な味だと好評だった。

その後は職員の力作のパネルで記念写真撮影。ハートのパネルから顔を出すと、なぜだか気恥ずかしいような初々しいような笑顔になる。

季節感あふれる楽しいイベントとなった。

記念撮影

イエーイ！

かわいくトッピング！

ホットケーキの大きさもそれぞれ

放課後等デイサービスURAURA

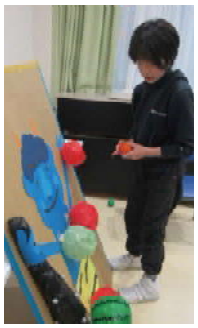
放課後等デイサービスURAURA八野

URAURA八野風豆まき

今年の節分は、どうして2月2日なの？納得いきませんがURAURA八野では、2日・3日とも豆まきを決行。初めに青鬼に豆の代わりにボールをぶつけた。鬼は紙風船をつけていてそれを、ボールをぶつけて割り、ばんざーい！の予定が、全く割れず。

「福は～内！」と声を出し元気にボールを投げ「体が強くなりますように」「心が強くなりますように」「今年1年元気に過ごせますように…」なんてことを願いながら。

豆まき後は回収鬼の口にボールをポイポイ！片付けも楽しく終わり邪気を払った。



放課後等デイサービスURAURA稲生

新年会&オカリナ演奏会

1月16日(土)、新年会&オカリナ演奏会を行った。

放課後等デイサービスURAURA八野の職員による、オカリナ演奏会とマジックショーでは、間近で見られ、子どもたちと一緒に見入ることができた。

袋からラムネが出てきたり、細く裂いたティッシュペーパーがうどんに変わるなど、子どもたちから「すご～い！なんで？」と驚きの声が上がっていた。子どもたちも参加ができる場面もあったり、とても嬉しそうにしていた。

オカリナ演奏会では、勇気100％とパプリカの曲に合わせて演奏をしてもらった。よく耳にしている曲ということもあり、踊ったり、口ずさみ楽しみながら演奏会を聴いた。

オカリナならではのきれいな音色に耳を澄ませ、心和む一時だった。

壁面完成～！

みんなで折り紙作ったよ！

おにぎりおいしいね

は～い！わかるよ～！

きれいな音色だね～♫

八野就労支援センター

三重県障がい者芸術文化祭

八野就労支援センター 山本勇雅さん

この度、令和2年度の三重県障がい者芸術文化祭にて実行委員会会長賞を受賞した。作品タイトルは「ぼくと仲間のいろんな気持ち」。伊勢亀鈴会の利用者さん、職員さんの顔がテーマとなっており紙粘土で週に一度、日中活動の時間を通して春からコツコツと作った作品。横山理事長から賞状を受け取ると「こんなすごい賞をいただけてとても嬉しいです。これからも頑張ります！」と話す山本さんだった。

お楽しみ会

1月30日（土）、お楽しみ会が開催された。紙相撲・コマ回し・カルタ・福笑いとお正月にちなんだ遊びをした。同じものに何度も挑戦したり、4つすべてに挑戦したりしていた。中でもカルタが人気が高く、たくさんの方が楽しそうにしていた。コマ回しは難しく苦戦している様子が見られたので射的も加え、大盛りあがりの1日であった。

よ～く狙って!

どこにある?

勝負あり!

サポートステーションの教養・娯楽活動2020

コロナ禍で、いろいろと制限を強いられる一年だったが、その中で少しでも利用者さんが楽しく過ごせて、そして成長出来る事を願って、進化した教養・娯楽活動を展開させた。5人の職員で、小委員会を構成し、今年度は、年度の始めに、年間プログラムを作成して、それに基づいて活動を実施していった。

教養活動としては、前年度好評だった「お掃除検定」に加え、「手話教室」も定期的に実施した。聴覚障害を持つ利用者さんと少しでもコミュニケーションを取れる事を可能にしようという目的も持っていた。最初は「あ・い・う・え・お」から始め、なかなか覚えれなかった人達も、回数をこなすうちに習得していった。これからも年に4回程度、定期的に開催していきたいと考えている。

娯楽活動としては、「創る」をテーマに、松ぼっくりを使ったクリスマスツリーや、貝殻を使った暖簾などを、一人一人創作してもらった。原材料を拾いに行くところから始め、素敵な出来上がりまで、たどり着くと、達成感を感じているようだった。

上記の活動は、主に江島本場で実施したが、八野を拠点とするまかせ太くんとヤマシタの利用者さんに関しても、下半期には独自の教養・娯楽活動を実施することが出来た。

娯楽の部分では、紅葉を見に、御在所から鈴鹿スカイラインを走って、紅葉狩りを行った。教養の部分では、あいさつのトレーニングから、名刺交換の仕方、安全意識の向上といった事の勉強会を開いたりした。今後も継続して行い、一人一人の力が伸びるように支援していきたい。

サポートステーション　教養娯楽活動　年間計画（2020）

	教養活動	娯楽活動
4月	花見・写生	かるた・ボードゲーム大会
5月	お掃除検定（第一回）	DVD鑑賞（NHK）
6月	海岸クリーン作戦	貝殻、流木、松ぼっくり等収集
7月	交通訓練（時刻表の見方について）	七夕作り（短冊）
8月	体力測定（第一回）	収集したもので作品作り（8～11月）
9月	お掃除検定（第二回）	交通訓練（標識の見方）
10月	手話教室（宝徳さん）	どんぐり拾い：秋バージョン作り
11月	芸術文化祭に向けて作品完成	どんぐり拾い：秋バージョン作り
12月	各自ロッカー点検、大掃除	クリスマスアイテム作り
1月	手話教室（宝徳さん）	習字（漢字一文字で書こう）
2月	お掃除検定（第三回）	体力測定（第二回）
3月	交通訓練（仕上げ）	梅まつり

松ぼっくりアート　完成!!

亀山サンシャインパークにて･･･

鈴鹿スカイライン　展望台にて･･･

どんぐりアート

秋の創作作品

南勢就労支援センター

初詣にいきました

新年最初の開所日となった1月4日(月)下外城田神社にて、初詣でを行った。

当日は晴天で1月とは思えないほど暖かい日だったが、境内は大きな木々に日差しをさえぎられ、また神社特有のおごそかな雰囲気も相まって、手がかじかむ位に寒く感じた。

神社に到着すると、地域の氏子さん達が出迎えてくださった。ご祈祷場所までの付き添いや、利用者さんに手水の作法を教えて下さったり、細やかに対応をしてくださった。

ご祈祷が始まると、神主様の行うご祈祷の所作をみなさん真剣な表情で見つめ、儀式に集中している様子だった。ご祈祷の中には、神主様と一緒に、参拝の作法を行う場面もあったが、みなさん「2拝2拍手1拝」の参拝の作法を間違わずに行う事が出来た。

ご祈祷後は、神主様より、教話を頂いた。教話は、コロナ禍により、我慢が求められる世の中だが、自分たちに出来る事を精一杯やりましょうという内容だった。

みなさん神主様のお話をうなづきながら聞かれていた。

最後に、全員で記念写真を撮影し、初詣では終了となった。

みんなを代表して

教話を頂きました

参拝に集中

集合写真

第2南勢就労支援センター

新商品のお知らせ

ジャムの作業に関わる利用者さんからのお知らせ。

わくわくジャムは旬の果実を使い様々なジャムをお届けしている。定番のイチゴやブルーベリー、人気の高い柑橘系類の数々、イチジクやカキといった個性的なジャムがある。

今回新たにカテゴリーが追加された。果物に続く新しいカテゴリー〝野菜〟である。

第一弾はニンジンジャム！国産の人参を使用しペースト状のまろやかな食感を楽しめるジャム。ジャムとしても食べやすく、料理としても使いやすい一品。料理のレシピはわくわくジャムHPや東海ラジオ笠原正弘の賛否両論！番組フェイスブックでも見ることが出来る。

日頃ジャムに関わる利用者さんから皆様へのお知らせである。

人参下処理

ジャムの宣伝

ジャム班集合

新車導入

第2南勢のまかせ太君では新たに館内清掃業務の為にケルヒャー業務用洗浄機を導入した。

従来使用していたポリッシャーとバキュームの機能が1つにまとまっている優れものである。この新車により作業効率が上がり、今までよりも作業時間を2時間ほど短縮することが可能になった。操作も簡単になり扱える利用者さんが増え、作業の幅も広がった。

今後もこの新車を使い、様々な場所の床をピカピカに磨き上げていく。

新戦力!

操作も簡単

緊張の初運転

宮の里ミタスメモリアルホーム

創作活動（キャップアート）

今回の創作活動では、沢山のペットボトルのキャップを集め、キャップアートを作成した。

使いたい色のキャップが無かったのでカラースプレーでキャップの色を塗ったり、そのままキャップを使用したりして、大きな絵を作成した。

入所では一面の雪景色と、きれいなオーロラそしてトナカイの絵を貼って作成した。

通所では大きな雪だるまと、ウサギの絵を作成した。

利用者さんも、職員も協力して合う色のキャップを探したり、ボンドを塗って貼っていくなど頑張って頂いた。

キャップがたくさん

オーロラがきれい

頑張ってはっていくよー!

でっかいゆきだるま

節分&鬼退治

124年ぶりに2月2日(火)が節分の日と言う事で、午後から赤鬼と青鬼が通所と入所に現れ、大きな金棒を振り回し、利用者さんに襲い掛かった。

通所では利用者さんと職員が豆の代わりにカラーボールを、入所では本物の節分の豆を「鬼は一外！福は一内！」と元気よくいいながら鬼にぶつけ退治すると、福の神様がやってきて、利用者さん達に鬼退治の労をねぎらい、鬼と仲良くしてあげてと言ってくれて、利用者さんと鬼は仲良くなった。

やーらーれーたー

鬼は一外!

福の神様がやってきた

二見生活介護支援センター潮音

ZOOM交流会

1月14日（木）、ZOOMによる交流会を行った。

コロナ禍で事業所間交流が難しい中、ボッチャ交流で以前よりお邪魔させて頂いていた、津市の障がい者支援施設『心豊苑』様のお誘いで、南勢就労支援センター、潮音、他事業所の4事業所で巨大すごろくのゲームを楽しんだ。巨大サイコロの出た目に皆さんわくわくしながら、画面の向こうのすごろくをご覧になっていた。

次回は、神経衰弱・黒ひげ危機一髪を予定！また皆さんとお会いしてお話できる日が楽しみだ。

えいっ!!

映ってますか?

こんにちは～　しおねです～

「絵本・はらぺこあおむしの世界」へ

12月に6日間、ブラックライトを使ってパネルシアターを上映した。

世界中で愛されている絵本、エリック・カールさんの「はらぺこあおむし」だ。

優しい声の音楽CDが流れる中、職員がキャラクターを動かし物語の世界を表現した。

おやつを食べる様子や蝶々に変身する場面で、手を叩いたり、大きな声があがった。

リクエストに2回連続で観られたグループもあった。

※今回、NPO法人「スヌーズレンを普及する会」からの無料貸出にて行った。

実際は真っ暗の中で、皆さんご覧になっています!

ブラックライトの画像例です。神秘的ですね。

ハートフルリレー
heartful relay

心をこめて お手伝い

福祉葬祭三重 きれい福祉会館伊勢 館長
葬祭ディレクター1級
隅 善昭

私が「福祉葬祭三重」に勤めさせて頂いて、今年で丸5年になります。

日々、利用者さんと共に葬祭業務を行っています。

利用者さんはいつも元気いっぱいで、その姿には元気をもらいます。

私は仕事柄、様々な事情の様々な家庭の葬家様とお会いしております。

十人十色とよく言いますが一つとして同じ葬儀はございません。

まずは親身になって話を聞く。相談に乗る。提案をする。皆様が納得した上で故人様をお送りする。

近年、家族葬の主流化が進み、さらに、昨年来、猛威を振るっているコロナ禍の影響で、葬儀の形も以前とはずいぶんと様変わりしました。

会館内の消毒等、衛生面への配慮等、日々の感染症予防を徹底しております。

また参列者様には、御遺族は別として、県外の親戚様にはなるべく参列を御遠慮いただくよう、御遺族の方にお話しております。コロナの影響により、今まで当たり前に出来た事が、出来ない状況になり、非常に心苦しいです。

その中でも「こころをこめてお手伝いさせていただきます。」の気持ちで、ご遺族様とともに故人様をお送りする事を心がけています。

音楽葬、雲の様なドライアイス演出、サプライズ、心に残る演出等、福祉葬祭ならではの演出で、故人様との最後の時間が、残された方々にとって、豊かなものになってほしい。

この思いを次世代に受け継いでいけたらいいのにと思います。

今後も、各葬家様との「御縁」を大切にしていきたいと思います。

今後の目標は、毎月の葬儀件数の安定化（月15件）友の会会員数1万件、伊勢市内での伊勢会館移転、新会館オープンが目標です。

今後共、よろしくお願い致します。

ケーキと肉まんのご寄付いただきました

このたび、ミニストップさんと井村屋さんより、利用者さんにそれぞれ、ケーキと肉まんのご寄付をいただきました。利用者・職員一同、おいしくいただきました。まことにありがとうございました。今後とも貴社のご発展をお祈りいたします。

八野就労　恵方ロール美味しく頂きました

八野就労　ミニストップの店員さんと記念撮影

第二南勢　井村屋さんありがとう!!

南勢就労　ケーキを食べてご満悦

南勢就労　もらったケーキは自分たちでカット

第二南勢　あんまん美味しかった～

還暦&成人の祝い

還暦になられた利用者さん2名、成人になられた利用者さん14名、おめでとうございます。健康に気を付けて、これからも頑張って下さい。

成人

八野就労支援センター

工賃をたくさん稼ぎたいです

伊藤 健太さん

お仕事いっぱい頑張りたいです

津川 智哉さん

ウエス頑張ります

小林 純斗さん

八野生活介護センター

素敵な女性を目指します

岡田 茉莉奈さん

元気に頑張ります

西村　彪さん

色々な活動に参加したいと思います。

駒田 健人さん

きれいサポートステーション

仕事、頑張って、お金を稼ぎたい

フェリシヤノ メナードさん

先輩を見習って、生活していきたい

鈴木 彩華さん

就職目指して、頑張りたいです

伊藤 朱里さん

仕事をもっと頑張って、上達したいです

濱口 笑里さん

南勢就労支援センター

仕事を頑張ります。

前田 昇大さん

二見生活介護支援センター潮音

潮音を利用させて頂いてまだ2年目ですが、これからも皆さんと仲良く過ごしていきたいです。よろしくお願いします♪

清水 彩乃さん

宮の里ミタスメモリアルホーム

健康で元気に過ごしたい

大村 昌賢さん

よく食べ、よく寝て、よく歩き、楽しく頑張ります！

中嶋 航希さん

還暦

八野生活介護センター
八野就労支援センター

寺村 幸一さん

幼少の頃は50、60代の人を見ると、年取ってるなぁ～!!って思ったけど、今や自分がそれ!気分的には30代…のつもりなのに?!体に気を付けて、もう一頑張り…です。

宮の里ミタスメモリアルホーム

上村 晶子さん

楽しく過ごしたい

永年勤続表彰

1月18日（月）、令和2年度永年勤続者表彰が、法人本部で行われた。

対象者には、横山理事長から表彰状と記念品が授与された。表彰者それぞれから今後の抱負を述べた。

今後も活躍が期待される。

永年勤続対象者

20年

八野就労支援センター	古西 義明
八野就労支援センター	大橋 圭一
宮の里ミタスメモリアルホーム	奥村 隆司
宮の里ミタスメモリアルホーム	奥野 百合子

10年

八野生活介護センター	岩城 千裕
法人 本部	濱口 祐子
八野生活介護センター	梅村 優大
グループホームきれい 栗の木ビレッジ	赤塚 芳信
グループホームきれい 栗の木ビレッジ	藤岡 環
宮の里ミタスメモリアルホーム	染川 礼子

5年

きれいサポートステーション	小林 健太
きれいサポートステーション	佐藤 雅人
八野就労支援センター	内藤 友晴
八野就労支援センター	橋本 悦子
八野生活介護センター	木村 和樹
八野生活介護センター	浜町 廣子
八野生活介護センター	萬代 照美
グループホームきれい 空羅多ガーデン	安村とみ子
グループホームきれい 空羅多ガーデン	小西川晴美
南勢就労支援センター	柴田 真男
第2南勢就労支援センター	池原 奈智
宮の里ミタスメモリアルホーム	寺田 貴弥
宮の里ミタスメモリアルホーム	大角 右京
宮の里ミタスメモリアルホーム	眞賀里壽男
グループホームきれい 御糸の杜	山中 敦子
グループホームきれい 御糸の杜	山口 貴子

職員の休日 HOLIDAY

明るく楽しく元気に仕事をしています

放課後等デイサービス URAURA稲生　佐藤 円香

URAURA稲生の佐藤円香です。

2019年7月に伊勢亀鈴会に入社させていただき、4月で1年9カ月を迎えます。

URAURA稲生には、2019年10月開所時より、勤務しています。

普段の仕事では、日々子どもたちと向き合い、発見や勉強の連続ですが、明るく楽しく元気に仕事をしています。

コロナが落ち着いていたときは、出勤前のURAURA稲生の前にある「喫茶なか」での、モーニングや、奥さんのなおみさんや常連のお客さんとの楽しいおしゃべりがルーティンでした。子どもの話やダイエット話、美味しいお店の話などなど、話のネタはつきず、私の元気の源としてまた通うのを楽しみにしてます。

私は、現在、仕事の他に鈴鹿市消防団Hiまわり分団に入団しています。休日、鈴鹿市内の中学校や高校、企業や施設等へ、救命救急の講師、紙芝居や人形劇等による地域防災の消防団活動を行っています。

この消防団活動は、伝える側ではあるものの、仕事同様に活動を通じて、地域防災や救命救急の知識や人との接し方（話し方や伝え方）等を日々学ぶことも多いです。

この学んだことを生かし、明るく楽しく元気に仕事ができるように頑張っていきますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

先日 URAURA 八野で防災紙芝居をした時は新人消防士とらお君になりました。

コロナ禍の為、距離を取りながらの救命救急の講習会です

URAURA 稲生では エプロン人形 消すぞう君になりました。

喫茶　なかさん
私のおすすめは小倉トーストのモーニングです

きれいの動き　新職員紹介

八野就労支援センター

福祉の森の家 おにぎり屋
中前 千代

宮の里ミタスメモリアルホーム

金森 美佳

二見生活介護支援センター潮音

井上 亜紀

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

伊勢亀鈴会　法人本部　2020.12月～2021.2月

野里　浩 様　まかせ太の施主様

竪　山 様　まかせ太の施主様

福祉葬祭三重　2020.12月～2021.2月

円光寺 様　長徳寺 様

真善寺 様　養泉寺 様

浄運寺 様　法林寺 様

編集後記

今回編集長を務めさせて頂きました、きれいサポートステーションの末村と申します。コロナ禍に翻弄された一年で、伊勢亀鈴会でも大きな行事が軒並み中止になり、この機関誌も難しかったです。次年度は、もっと楽しい記事がお届け出来ると嬉しいです。

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいていますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等) 園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター　担当：中野　TEL059-378-8881
宮の里ミタスメモリアルホーム　担当：塩見　TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音　担当：岡島　TEL0596-72-8822

社会福祉法人
きれい 伊勢亀鈴会

きれい通信 ちょっと寄り道!!

spice カレー専門店 隠れ家

今回の寄り道では、津市大門にある「spiceカレー専門店隠れ家」を紹介する。

コロナで落ち込んでいる世の中に少しでも元気を届けたいという思いから、自粛ムード漂う昨年8月13日にオープンしたカレー専門店だ。

大通りから少し入った商業ビルの3階にあり、まさに「隠れ家」といった立地である。

メインのカレーは、“隠れ家スペシャルカレー:1080円”(スタンダード)と“黒毛和牛ステーキカレー:1480円”の2種類。大盛りと追いルー(ルーを足してくれるサービス)は無料で対応してもらう事が出来、さらにセットメニューとしてドリンク。サラダ・スープを別料金でつけることもできる。

オススメは、黒毛和牛ステーキカレー。ご飯をおおい隠すほどふんだんに使われた黒毛和牛は、なんとA5ランクの「ランプ」(サシは少ないが、きめが細かい赤身)を使用。ご店主が信頼を寄せているお肉屋さんから、直接仕入れていて味も抜群だ。ランプが手に入らない時には、同じ値段で「イチボ」(ランプの中の、さらに希少な部位)になることもあるそう。「儲けは少ないが、お客さんが笑顔になってくれれば」とご店主。

そんなサービス精神旺盛なご店主が、笑顔で出迎えてくれる居心地の良い「Spiceカレー専門店隠れ家」。コロナが終息した際には、ぜひ一度立ち寄ってみてほしい。

Access

住所:三重県津市大門28-11　レジャックビル3F
電話番号:050-5452-2565
※お店からお客様へ電話連絡をする場合、
上記電話番号と異なる場合があります。

印刷
指定就労継続支援B型事業所
八野就労支援センター印刷係
〒513-0837　鈴鹿市八野町22番地の1
☎059-375-4381　FAX 059-340-8810　e-mail　insatsu@kirei.or.jp

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881(代) FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130(代) FAX059-392-5131
指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622(代) FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
福祉の森の家　体にいいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン(くらたがーでん)
〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ
(第1)〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182
(第2)〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜(みいとのもり)
〒515-0354　多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800
指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
519-0504　伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531
指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911
指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050
指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp
指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033
指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音(しおね)
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823
指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉄砲塚728番地の18
TEL0596-58-0101(代) FAX0596-58-6742
e-mail nansei@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
お弁当屋　潮音(しおね)
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808　FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711(代) FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771
指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025
社会的事業所
まかせ太君(鈴鹿)
〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119
社会的事業所
まかせ太君(伊勢)
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451